

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です

全日本民医連 第45期
第1回 評議員会方針学習会
 日時▶8月30日(火) 17:30~19:15
 ※オンライン開催
 講師▶岸本啓介氏(全日本民医連事務局長)
 参加対象: 地協・県連・法人事業所などの職責者、
 社保委員はじめ全役職員
 主催/全日本民医連北海道・東北地協

みやぎ民医連

発行所 宮城県民主医療機関連合会
 仙台市青葉区木町通1-8-18
 〒980-0801 田村ビル5F
 TEL 022-265-2601
 FAX 022-263-8266
 e-mail:dai@miyagi-min.com
 発行人 坂田 匠
 1日・15日 月2回発行 1部 50円

7次長計案の全職員討議を進めよう

現場からの意見を 出し合って

宮城県民医連は、今年6月に行った第43回定期総会で第7次長期計画(7次長計案)を提案し、11月5日の臨時総会まで全職員討議を呼びかけています。7次計画案のポイントについて宮沼弘明会長に話を伺いました。

従来、県連の長期計画は、事業所建設などのハード面の計画でしたが、今は難しい。6次長計では高齢者住宅の建設の可能性を追求するとしまし、経営的な厳しさや、職員確保の困難により断念しました。地域医療構想で病床を減らしていくという国の圧力に対抗して、地域医療を守っていくことが課題となります。

民医連運動・経営・職員育成の一体的な前進を

7次長計で重視しているのは、「三位一体」、運動・経営・職員育成を統一的に進めることです。経営は目に見えませんが、後継者養成は目に見えない分かります。特に医師と看護師の後継者養成を、どう成功させるかが大きな課題です。医師については、新卒医師は獲得できず、その後継として指導医にまでなる人が少ない。看護師も、新卒者の採用と定着をどう進めるか。看護師不足のため、ベッドの稼働を制限している現状です。後継者養成がうまくいかないと、経営にも影響します。



**コロナ禍の経験
を踏まえて今後の
感染症への対応を
強める**

新型コロナウイルス感染症が急激に広がっています。これだけの感染症は医者になって初めての経験です。今後、5年、10年に一回というレベルで、このような感染症が出てくることも考えられます。今回の新型コロナウイルスへの対応を教訓にして、来るべき感染症とパンデミックに、県連としてどう対応できるかというところが大きな課題です。県連として感染症対策委員会の検討や、BCP(事業継続計画)の整備が必要で、今回のコロナ禍の経験を踏まえて、宮城県民医連として不足しているところを強化していきます。

**少子化や
子どもの
貧困問題**

子どもの貧困格差やいじめ問題が深刻です。県連として課題をしっかりと認識し、取り組む必要が

あると、7次長計で問題提起しました。県連には、小児科や産婦人科、保育所もあります。子どもと接する現場の職員の方から、意見を出していただきながら、取り組みを深めたいと思います。

**センター病院
(坂総合病院)が
目指す医療活
動を実現し、中
小病院・診療所
の発展と両立を
させる**

医療については、病院を維持して、診療所も守ることが、基本的なスタンスです。公立・公的病院の再編・統合や県内の4病院(県立がんセンター、県立精神医療センター、仙台赤十字病院、東北労災病院)の統合・移転など、急性期病院を減らすことを国は本気で考えています。地域医療構想のもとでも、県連の各病院の病床を守るためには、地域で医療にアクセスできない人を取りこぼさず、必要な医療につなげることが大切です。診療所も職員配置の課題はありますが、今ある診療所は守っていき、人口減少が顕著な地域で、民医連の診療所がどういう役割を發揮して経営的にも成り立たせるのか。地域の要求に心えながら、経営的に成り立たせる戦略を立てる必要があります。法人と協力しながら、縮小、廃止ではなく、存続を前提として、こういう方向

**職員の
みなさんに**

こんな内容という、前向きな方向で構想をつくっていきたく思います。もういいので、集团的に意見を出して、議論をしていただきたい。各職場で勤務時間内に、少しでも読む時間を作ることはできないか、検討をお願いします。

7次長計案は全職員に読んでいただきたいと思っています。職責者や管理部門の方は、ぜひ全文を読んでもほしい。その他の職員の方は、パワーポイントにまとめた概要と、目次を参考に自分に関係するところや関心のあるところを中心に読んでいただきたい。目安として興味のあるもの、事業所、職種など。現場にいるからこそ見える問題や、考え方を寄せていただきたいと思っています。職員の方々の意見を完結させたいと思っています。

7次長計 7つの基本方針

- ① 民医連運動、後継者養成、経営改善の一体的追求。
- ② 感染症パンデミックへの対応
- ③ 病院と診療所の総合的発展
- ④ 介護分野の中長期方針
- ⑤ 少子化や子どもの貧困問題
- ⑥ 震災被災者支援
- ⑦ 共同組織を強化・発展

健康手帳 週末いつもの買物で、レジで金額を告げられ間違ったじゃないかと驚く。同じものを買っているのに、購入金額がこれまでと比べ大きく上がっていった。他の客の買い物カゴの量も、心なしか控えめな気がする。▼消費税増税のたびに経験してきたが、今回の物価高騰でさらに追い打ちをかける。ガソリンを入れようと思っても、店頭表示価格を見て今日はやめておこうと通り過ぎる。▼電気代も昨年と比べ使用量が増えているわけではないのに、請求額は上がっている。▼エアコンは高めに設定している。▼暮らしに直結するものの値上がりが著しい。電気や携帯のプランは既に見直しをしているし、他で家計を見直すとなると食料品や日用品、水道光熱費を増やさないことより他ない。▼物価高が大きな影響を及ぼす家庭とそうでもない家庭の差はますます広がっていく。低所得者ほど家計への打撃は大きいだろう。切り詰める生活はもはや限界に近い。自助だけではすべての国民が健康で文化的な最低限度の生活は営むことはできない。▼参議院選挙は終わったが、これから先国が何に予算を使い、どこを向いた政治を行っていくのか改めて厳しく見ていかねばならない。

福島民医連

「福島第1原発視察」に参加して

県連事務局 事務 神倉 功

7月23日に開催された、福島民医連主催の「福島第1原発視察」に参加した。事前に氏名、生年月日、所属、自宅住所、電話番号の他に、身長、靴のサイズ、当日持参する写真付き身分証明書の



1号機建屋



3号機建屋

種類、参加車両の登録が求められた。当日は10時15分に富岡町の東京電力廃炉資料館に集合だが、常磐自動車道・常磐富岡ICを降りた時点で視察調整窓口で電話を入れるという徹底ぶりであった。

国道6号線沿いは帰還困難区域で、ホームセンターや田んぼも荒れ放題、原発事故の過酷さが感じられた。廃炉資料館では、身分証明書を預けた後、バスで第1原発に移動。国道6号線から第1原発に向かう道路に入ったとたん写真撮影は禁止された(本稿の写実は、東電の同行者が撮影し

たもの)第1原発では視察コースの概要や入構時の注意事項の説明を受けて、昼食後に構内視察開始。入構に際しては、長袖着用の確認と構内で落としたものは拾えないためメモ帳、ボールペンは東電支給の物のみとされた。身分証明書コピーによる本人確認の後、ベストと綿手袋、個人ごとの積算線量計とICチップ付き一次立入許可証が交付され、2重のゲートを一人ひとり通過して入構。構内はバスからの視察が基本で、1号機から4号機までの原子炉建屋は、建屋向い側の高台から下車して見学した。水素爆発した1号機は、高線量のため一切の作業ができず、当時のままの状態。建屋前の線量計は約80μSv/hで年間積算線量は換算すると700mS



建屋前の線量計

v/hと高線量であった。同行した方が持参した簡易空間線量計は測定不能だった。1時間程度の視察後の個人の積算線量は全員0.02mSv前後。歯科のレントゲン写真2枚分との説明があった。福島民医連は、コロナ前から医療生協組合員も含めて視察を行っており、今回は全日本を含めて17名の参加だった。東電の係員に聞いたところ、

「コロナ前は年間2万人、コロナ後も年間4000人の視察があるそうだ。原発の過酷事故の実態を

知る上でも、宮城民医連や友の会でも是非視察を企画すべきと思った。」

広がることを懸念されています。そのような中、7月9日にみやぎ反核医師・歯科医師の会主催の「戦争させない環境づくりを」の講演会を開催しました。

「故安倍元首相への参院選が前日にあり、参議院選挙の投票日が翌日という特別な日の講演です。」と冒頭に発言があり、そのような社会情勢の中でロシアのウクライナ軍事侵攻の教訓をもとに、日本の課題の一つである中国による台湾有事の回避などの為には、価値観の対立を超えた国際協力が必要なことや、ASEANの頑張りや日本外交のモデルになることなどを講演していただきました。

講演終了後は、活発な質疑応答があり、多くの参加者から質問が出されました。それに対して猿

田氏が、丁寧に誰もが納得できるように答えていたのが印象的でした。そして、戦争を止めることがいかに難しいことなのか、戦争を行わない外交努力がいかに重要なかを改めて感じることができた講演会でした。

みやぎ反核医師・歯科医師の会講演会

戦争させないための外交努力の重要性を再認識

宮城厚生協会 事務 小野寺 知洋

2月24日に開始されたロシアのウクライナ軍事侵攻は、5ヶ月が経ち大方の予想通り長期化しています。その過程で、さらに多くの人命が失われ、核兵器や生物・化学兵器の使用など新たな危機が

昨今の日本国内では、「核共有」など、軍事拡力の保有、軍事政治家から聞こえます。また、核兵器や軍事的枠組みによる抑止効果その

田氏が、丁寧に誰もが納得できるように答えていたのが印象的でした。そして、戦争を止めることがいかに難しいことなのか、戦争を行わない外交努力がいかに重要なかを改めて感じることができた講演会でした。

子どもは、沢山の可能性をもって生まれてきます。色々な選択肢を、保障されるべきだと思います。色んな格差社会では、経済面からの選択肢に乏しいと思うことが多いです。

確かに、小中学校は義務教育で、学費は無償ですが、副教材費にかかるとお金は一般家庭であっても、比重が大きいのが現実です。そして今の時代、学校の勉強だけでは受験が難しく、塾に行く子どもが大半になっています。高校に行けば、学費も無償ではなく、学部活をすれば、ユニホーム代や遠征費代など、

小中学校以上にお金がかかるようになり、生活すること一杯で、教育にお金がかからない低所得の家庭の子どもたちは、低所得になる可能性が高いと言われています。いわゆる貧困の連鎖は、今の教育社会ではそうならざるを得ないのかもしれない。連鎖を断ち切るには、教育は絶対的に必要だと思います。生まれた家庭環境に左右されることなく、沢山の可能性を潰さないように、全ての子どもたちが、格差ない教育が受けられる社会を願い、作っていくことが大切だと思います。

クイズの解答は事業所名、氏名、職種を記し県連事務局に送ってください。メールは不可。ファックスは可。正解者に抽選で5人に図書カードを進呈いたします。余白に日頃考えている事などを書き添えて下さい。「声」の欄に掲載させていただきます。応募資格は、パート・アルバイト・臨時職員、締切9月15日当日消印有効。発表10月1日号。7月1日号答え「パイウゼン」・応募総数14件。当選者「菊地貴子」/ケアステーションあゆみ、遠藤澄子/坂総合病院、吉田真之介/坂総合病院、大沼晴生/田子のまち、上田克幸/県連事務局(敬称省

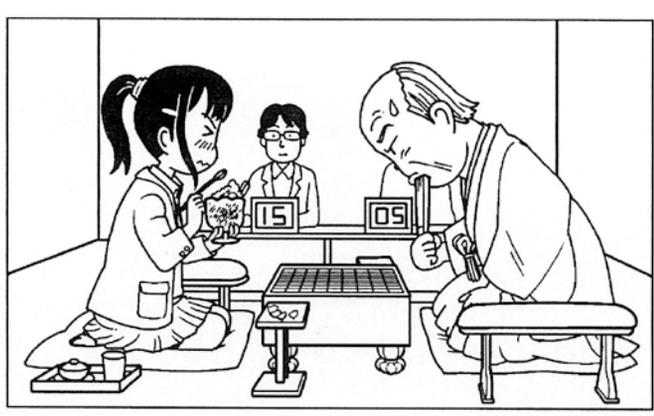
私の好きな憲法は何条?

映画「マザー」をご覧になった方はいますか? 埼玉県川口市で起きた、祖父母殺害事件が元になって作られた映画です。この映画の子どものように福祉から漏れ落ちてしまふ子どもたちが、世の中にたくさんいると思うととても悲しくなり、何か術はないのだろうか、と考えさせられました。私が担当している方の孫が、複雑な家庭環境で学校にも行けない状況が続き、児童相談所に保護されました。その後、「学

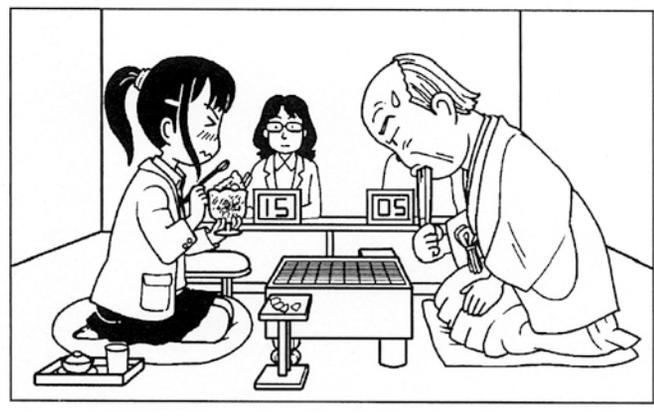
校に行きたいからここにいたい」と、本人自ら施設入居を選びました。この原稿依頼が来た時に憲法を改めて考えました。好きな憲法というよりは、私が大切にしなければいけないかと思う憲法は、憲法第二十六条「教育を受ける権利とうけさせる義務」です。そして、教育基本法の第四条には、「すべての国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えなければならず、人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。」とあり

子どもは、沢山の可能性をもって生まれてきます。色々な選択肢を、保障されるべきだと思います。色んな格差社会では、経済面からの選択肢に乏しいと思うことが多いです。

確かに、小中学校は義務教育で、学費は無償ですが、副教材費にかかるとお金は一般家庭であっても、比重が大きいのが現実です。そして今の時代、学校の勉強だけでは受験が難しく、塾に行く子どもが大半になっています。高校に行けば、学費も無償ではなく、学部活をすれば、ユニホーム代や遠征費代など、



7つのマチガイ [問題]上の絵と下の絵では7つのマチガイがあります!どこでしょう?(作・野上和彦)



クイズの解答は事業所名、氏名、職種を記し県連事務局に送ってください。メールは不可。ファックスは可。正解者に抽選で5人に図書カードを進呈いたします。余白に日頃考えている事などを書き添えて下さい。「声」の欄に掲載させていただきます。応募資格は、パート・アルバイト・臨時職員、締切9月15日当日消印有効。発表10月1日号。7月1日号答え「パイウゼン」・応募総数14件。当選者「菊地貴子」/ケアステーションあゆみ、遠藤澄子/坂総合病院、吉田真之介/坂総合病院、大沼晴生/田子のまち、上田克幸/県連事務局(敬称省



みやぎ反核医師・歯科医師の会共同代表杉目博厚(左)と猿田佐世講師(右)